The background of the cover features a close-up, low-angle shot of a tree's trunk and branches. The trunk is dark and textured, leading up to a dense canopy of green leaves. The leaves are backlit by a bright, possibly overexposed sky, creating a soft, glowing effect. The overall composition is organic and emphasizes nature.

EIDAI

CSR REPORT 2011

永大産業株式会社

木を活かし、よりよい暮らしを

人は遙か昔から「木」と暮らしをともにし、自然と調和してきました。

しかし一方で人は物質的な豊かさを求め過ぎるあまり、

深刻な環境破壊を引き起こし、

その結果、真の豊かさとは何かを見失ってしまいました。

私たちは住まいづくりの中で「木」を活かし、よりよい暮らしを実現することこそ、

本当の豊かさであると確信しています。

ただしそれは、この地球で「共に生きる」という思想のもと、

持続可能な社会が確立して初めて可能になる、と考えています。

永大産業はそのような社会を構築するため、

地球、社会、人との共生を通じて環境保全に取り組み、

なお一層、社会に貢献する企業であり続けることを目指しています。

永大産業は、持続可能な木材資源の利用を推進するかたわら、役目を終えた木製品や木質廃材が再び社会で利用されるよう、独自のリサイクルシステムで地球環境の保全に努めて参りました。当社は環境との調和を重んじ、地球との共生を継続していきたいと考えています。



永大産業は、社会の公器としての立場を認識し、広く情報公開を行い、透明性の高い経営に努めます。当社は法令を遵守し、社会的利益の還元を積極的に行うことで、これからも社会との共生を尊重していきたいと考えています。

永大産業は、誰にとっても健康的であり、なおかつ安全、安心に使えるモノづくりを目指しています。当社はそれら製品の使い易さ、快適さをさらに追求することで、人との共生をかたちにしたいと考えています。

CONTENTS

- 1 基本理念／編集方針
- 2 目次
- 3 トップメッセージ／会社概要
- 5 事業紹介



東日本大震災のあと、仮設住宅向けに室内ドアやキッチンを生産し、被災地への供給を図りました(P7)



地球環境に優しい製品を提供していくため、環境配慮木材を積極的に使用した製品開発を行っています(P9)



ユニバーサルデザインに力を入れるとともに、少子高齢社会に対応するため、衝撃吸収フローリングを開発しました(P11)



トピックス TOPICS

- 7 震災復興に向けて(東日本大震災)
- 9 國際森林年に向けた取り組み
- 11 少子高齢社会への対応



環境報告 ENVIRONMENTAL REPORT

- 13 環境方針
- 14 地球温暖化防止への取り組み
- 15 リサイクル活動の推進
- 16 産業廃棄物削減への取り組み
- 17 化学物質の管理・抑制
- 18 環境マネジメントシステム
- 19 マテリアルバランス 環境会計



社会性報告 SOCIAL REPORT

- お客様とともに(消費者課題)
 - 21 お客様相談センター
 - 22 ショールーム
 - 23 ホームページ
 - 24 品質管理
- 従業員とともに(労働慣行・人権)
 - 25 従業員とともに
- 地域社会とともに(コミュニティへの参画)
 - 27 地域社会とともに



コーポレート・ガバナンス CORPORATE・GOVERNANCE

- 29 コンプライアンス/コーポレート・ガバナンス
- 31 リスクマネジメント
- 32 公正な事業慣行
- 33 サイトレポート
- 34 編集後記

編集方針

発行の目的

本報告書は永大産業の環境、社会、企業統治に関する活動を、広く知っていただるために発行するものです。

編集方針

当社では企業としての社会的責任を明確にし、環境および社会性報告、さらに企業統治の取り組みを、より詳しく説明するため、今年から本報告書の名称を、環境社会報告書からCSRレポートに改めました。

報告対象範囲

永大産業株式会社
一部グループ会社の報告を含みます。

対象期間

年度の集計は2010年度(2010年4月～2011年3月)の活動を掲載していますが、取り組みは2011年8月までの内容を合わせて報告しています。

次回発行時期

2012年9月発行予定

参考ガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン」(2007年版)
(財)日本規格協会「ISO26000:2010」

お問い合わせ先

〒559-8658
大阪市住之江区平林南2-10-60
永大産業株式会社 経営企画部CSR推進室
TEL 06-6684-3062
FAX 06-6684-3068

TOP MESSAGE

環境に優しい 住まいづくりに貢献

はじめに、3月11日に発生した東日本大震災において、被災された皆さまには、謹んでお見舞い申し上げます。永大産業グループは住宅資材メーカーとして、現在でも避難所生活を余儀なくされている皆さまが、一刻も早く仮設住宅や復興住宅に住まうことができるよう、安定した製品供給を通じて復興を支援していく所存です。

さて、社会・経済環境は日本の国内外を問わず、めまぐるしく変化しております。このような時代の流れの中、当社では一貫して木にこだわり続けてまいりました。「木を活かし、よりよい暮らしを」という基本理念は、住まいづくりの中で「木」を活かし、よりよい暮らしを実現することこそ本当の豊かさであるという信念を現したもので。しかし、この豊かさを実現するためには地球、社会、人との共生を通じて環境保全を取り組み、社会に貢献する企業でありつづけなければなりません。

環境への配慮

折しも、2011年は国連が定めた国際森林年にあたります。この国際森林年は、持続可能な森林経営がいかに重要であるかを広く知ってもらおうというのが大きな目的です。当社は業界に先駆けて森林認証材をはじめとする持続可能な森林の木を製品の原材料に使用するほか、未利用材や製材端材等も無駄なく活用する、さらに廃木材も貴

重な資源として循環させるマテリアルリサイクルを行って、フローリングや内装材など住まいに役立つ製品を生産してきました。この「持続可能な森林」「無駄なく使う」「循環させて使う」という「3つの循環の輪」に沿って事業を展開することで、地球環境の保全に取り組んできました。当社の企業姿勢は国際森林年の精神とまさにマッチしたものです。

すべてのステークホルダーが満足するモノづくり

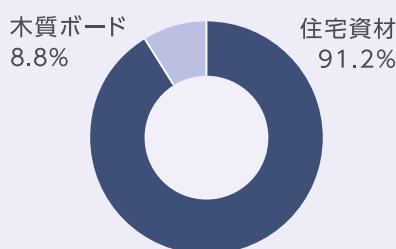
我が国は今、かつてない少子高齢社会に直面しています。こうした大きな人口構造の変化に伴って、住まいにも様々な対応策が必要になっていきます。これからは、世代を問わず誰もが安全に暮らせるようになることが、求められてくることでしょう。当社では、誰にとっても健康的であり、安心して使えるモノづくりを目指して事業活動を行っております。

誰もが満足する製品をお届けするには、お客様のご相談やお問い合わせに対して迅速、的確に対応できる営業体制、地域社会に根ざした様々な交流、そして従業員が安全に働くことができる職場作りが大切です。当社では製品の品質はもちろんのこと、これらの側面にも力を入れてまいります。

会社概要

社 名	永大産業株式会社(Eidai Co., Ltd)
創 業	1946年7月29日
本 社 所 在 地	大阪市住之江区平林南2丁目10番60号
資 本 金	32億8530万円(2011年3月末日現在)
従 業 員 数	1,085名(2011年3月末日現在)
製 造 拠 点	大阪、敦賀、山口
営 業 拠 点	東京、名古屋、大阪ほか全国41箇所
事 業 内 容	住宅資材および木質ボードの製造・販売
上 場 場	東京証券取引所 市場第二部(証券コード:7822)
グルーブ会社	小名浜合板株式会社(福島県) 永大スタッフサービス株式会社(大阪市) 永大テクノサポート株式会社(大阪市) エヌ・アンド・イー株式会社(徳島県)

事業別売上比(連結)



売上高(連結)



企業が正しく事業を行うために

企業が正しく事業を行うためには、企業統治が揺るぎないものでなければなりません。当社では「永大産業企業行動憲章」を制定し、企業の社会的責任としてコンプライアンスに対する考え方や姿勢を社内外に宣言しています。さらに、「コンプライアンス・マニュアル」などの各種マニュアルを制定して全社員による積極的な取り組みを推進しております。

なかでも、法律及び規制の遵守には反社会的勢力排除に向けた取り組みが重要であるとの考え方から、「反社会的勢力排除マニュアル」を作成して、反社会的勢力との関係を一切遮断するための具体的な内容について、全従業員に周知徹底を図っています。さらに、取引先のチェックや取引契約書への暴力団排除条項の導入も行っています。

近年、住まいづくりにおいて環境への配慮、安全、快適への要求がますます高まっています。永大産業グループは、今までに培ってきた技術力を活かしてこのようなニーズにいち早くお応えし、社会から評価される企業でありたいと考えています。

吉川 康長
代表取締役社長



経常利益（連結）



製造拠点

- 大阪事業所(大阪府堺市)
室内ドア・収納・製作材・システムキッチン
- 敦賀事業所(福井県敦賀市)
フローリング・一体型床暖房・室内階段セット・パーティクルボード
- 山口・平生事業所(山口県熊毛郡平生町)
フローリング・パーティクルボード

[グループ会社]

- 小名浜合板株(福島県いわき市)
パーティクルボード・収納・製作材・階段部材
- エヌ・アンド・イー(株)(徳島県小松島市)
MDF

総資産（連結）



営業拠点

札幌*、青森、盛岡、仙台*、山形、福島、新潟*、宇都宮、茨城、群馬、埼玉、千葉、柏、東京*、東京西、相模原、横浜、山梨、長野、金沢*、静岡*、名古屋*、三重、京都*、大阪*、神戸、姫路、岡山*、広島*、米子、山口、高松、松山、北九州、福岡*、長崎、熊本、鹿児島、沖縄*

事業紹介

より豊かな住まいづくりを目指しています

永大産業では、自然素材である木を活かし、暮らしに役立つ様々な製品を開発、供給することで、より豊かな住まいづくりの実現を目指しています。

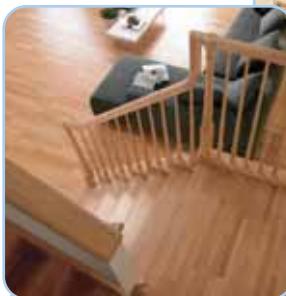
フローリング・室内階段

素材を厳選し、
環境に配慮した製品を開発しています。

持続可能な森林資源を活用し、環境に配慮したフローリングや室内階段セットなどの製品を開発、生産しています。中高層市場向けの遮音フローリングや床暖房をはじめ、安心・安全で施工性に優れた高機能製品の品揃えを図っています。

建材事業部

取扱製品
フローリング、一体型床暖房、床造作材、壁材、
エクステリア部材、室内階段セット、室内階段廻り部材



システムキッチン・サニタリー・バス

美しく機能性に富む水まわり製品を
供給しています。

超低ホルムパーティクルボードの採用で、空気環境に配慮したシステムキッチンをはじめ、美しく、機能性に富む水まわり製品を供給しています。

住設事業部

取扱製品
システムキッチン、洗面化粧台、トイレカウンター、
システムバス

室内ドア・造作材・収納



内装システム
事業部

取扱製品
室内ドア、システム造作材、カウンター、クロゼット、
シューズボックス、システム収納



パーティクルボード

不用になった木質製品と未利用材を活用し、
木材資源の有効利用を推進しています。

不用になった木質製品を焼却せず、マテリアルリサイクルを行い、炭素を固定化することで二酸化炭素の発生を抑制し、環境保全に寄与しています。さらに超低ホルムパーティクルボードの生産も行っています。

パーティクルボード
事業部

取扱製品
パーティクルボード、化粧パーティクルボード、MDF



POINT

永大産業の化粧パーティクルボードは、表面に強化紙を用いていますので、そのまま原材料として再利用することができます。化粧パーティクルボードは、シューズボックスやシステムキッチンのボックスなどに使用しています。

震災復興に向けて(東日本大震災)

製品の供給を通じて、被災地の復興を支援しています

仮設住宅用キッチン・建具を供給

東日本大震災では、地震と津波によって多くの家屋が倒壊、または消失しました。被災地では住まいを失った方々のために、仮設住宅の建設が急ピッチで進んでいます。当社では震災後、そのような仮設住宅で使用するキッチンや建具などの供給を図ることで、被災地の復興を支援しています。

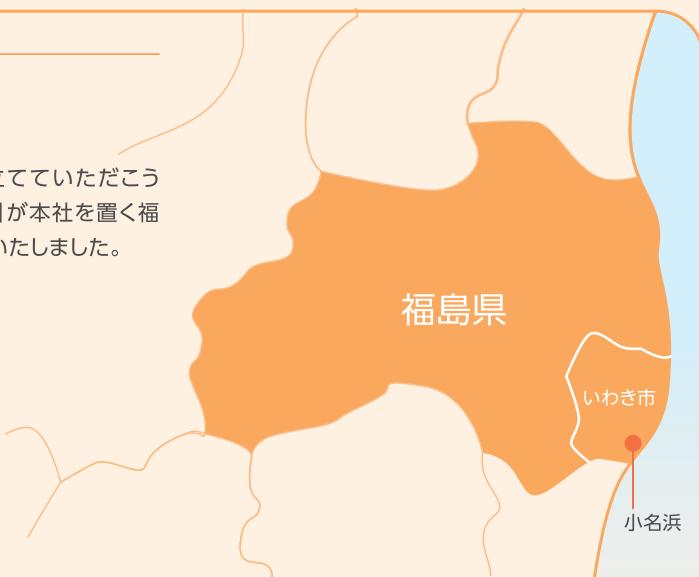


福島県いわき市に義援金 2000万円を寄付

東日本大震災の災害復旧及び復興に役立てていただきごと、永大産業はグループ会社「小名浜合板」が本社を置く福島県いわき市に、義援金2000万円を寄付いたしました。



向かって左から渡辺敬夫いわき市長、大村博小名浜合板社長、吉川康長永大産業社長



日本赤十字社を通じて 200万円を寄贈

当社では、東日本大震災で被災された方々のために、社内で募金活動を行いました。社員および役員から集まった200万円は5月、日本赤十字社を通じて寄贈いたしました。当社では今後も被災地への支援を継続していく考えです。

電力削減の取り組み

東日本大震災による電力不足は、関東・東北地方だけにとどまりませんでした。当社では東京・東北電力管内にある事業所(営業所)だけでなく、全社を挙げて節電に取り組む必要があると判断し、震災後早急にその対応策をまとめました。

特に電力を多く使用する製造部門は、削減できる電力消費がないか再点検するとともに、空調や照明について使用時間などを細かく設定し、可能な限りの節電に努めました。営業部門や管理部門も、空調や照明の節電に力を入れました。特に空調は一般的なオフィスビルが消費するエネルギーの中で、最も大きな割合を占めるため、本社では18時より全館の空調を停止するなど、取り組みを実施しました。またパソコンやプリンター、コピー機などの事務機器についてこまめに電源を落としたり、待機電力を減らすなどの措置を徹底させました。



照明設備の
ライトダウン



山口・平生事業所の取り組み

自家発電設備をフル稼働

山口・平生事業所は、夏季ピーク時に中国電力からの電力を使わない取り組みとして、部内にある自家発電設備(バイオマス発電設備)を活用する取り組みを行いました。

山口・平生事業所における全電力量に占めるバイオマス発電量の割合は、昨年度22%でしたが、今年度は早期からバイオマス発電設備をフル稼働させ、6月からその割合を29%まで高めました。



敦賀事業所の取り組み

空転ロスをなくし、節電を強化

敦賀事業所は電力不足に対応するため、部内で早い段階から節電のための検討を重ねました。

敦賀事業所では、製品の加工段階で発生する木材チップや木粉などを回収する集塵用ファンをはじめ、大量に電力を消費する設備について、使用効率の最適化を行い、使用電力の削減に努めました。



大阪事業所の取り組み

使用電力を平準化

関西電力管内でも、夏季ピーク時における電力供給が不安定な情勢になりました。このため大阪事業所では、昼間の食事休憩の時間を通常より1時間遅らせ、電力消費のそれほど多くない正午の時間帯に設備を動かし、逆に電力を最も使用する午後1時からの時間帯に、主だった生産設備を停止させることで、ピーク時における電力使用の平準化に努めました。



津波に備え、避難方法を検討

今回の東日本大震災では想定外の高さの津波が沿岸部を襲いました。これを受け、地方自治体も防災計画を見直し、新たな津波対策の策定を始めました。臨海工業地帯に位置する大阪事業所では、周辺の企業とともに、今後地方自治体の方針に沿って、安全に避難する方法などについて検討を重ねています。



小名浜合板の取り組み

ピークを避けて使用電力を分散

東日本大震災による原発事故を契機に、電力の需給バランスが損なわれるという問題が生じました。とりわけ関東・東北地方では管内の電力会社から15%の使用電力削減を求められる事態となりました。

福島県いわき市に本社を置くグループ会社の小名浜合板では、このような状況に対応するため社内で繰り返し対応策を協議しました。同社は対応策の一環として、7月から一部の部門でサマータイム制を導入して1時間始業時

間を早め、照明、空調などの節電に取り組みました。また製造部門では生産工程の中で、多くの電力を消費する工程を夜間および休日(土曜日)にシフトし、使用電力の分散を図りました。このような措置により、同社は電力使用量を15%以上削減しています。



国際森林年に向けた取り組み

環境配慮木材を積極的に採用し、CO₂(二酸化炭素)の排出抑制に努めています

2011年は、国連が定めた国際森林年(the International Year of Forests)にあたります。この国際森林年は持続可能な森林経営が、いかに重要なものであるかを、広く知らしめる目的で制定されました。

永大産業は、森林認証材をはじめ、持続可能な森林経営から産出される木材や、リサイクルによって生産された木材など、環境に配慮した木材(環境配慮木材)を積極的に採用し、国際森林年にふさわしい事業活動を展開しています。

● 環境配慮木材を使い製品を生産

永大産業では環境NGOの提言などを参考に、森林認証材やパーティクルボード、MDFのほか、環境配慮木材について、自主的な定義づけを行っています。製品の開発

や材料の転換に関しては、その定義に沿って行い、環境配慮木材の使用比率を高める取り組みを行っています。



● 環境配慮木材で住まいづくりをけん引

永大産業は豊かな住まいづくりを目指し、環境に配慮した木材(環境配慮木材)を利用して、暮らしに役立つ様々な木製品を供給してきました。

当社ではこのような事業活動が、そのまま地球環境の保全につながると考え、これまで当社のあらゆる製品に環境配慮木材を用いてきました。その結果、室内ドア、収納、造作材、システムキッチン、洗面などの木質基材はパーティクルボード・MDFなどを活用することにより、ほぼ全てが環境配慮木材で構成され、階段では約7割が国産材を活用しています。

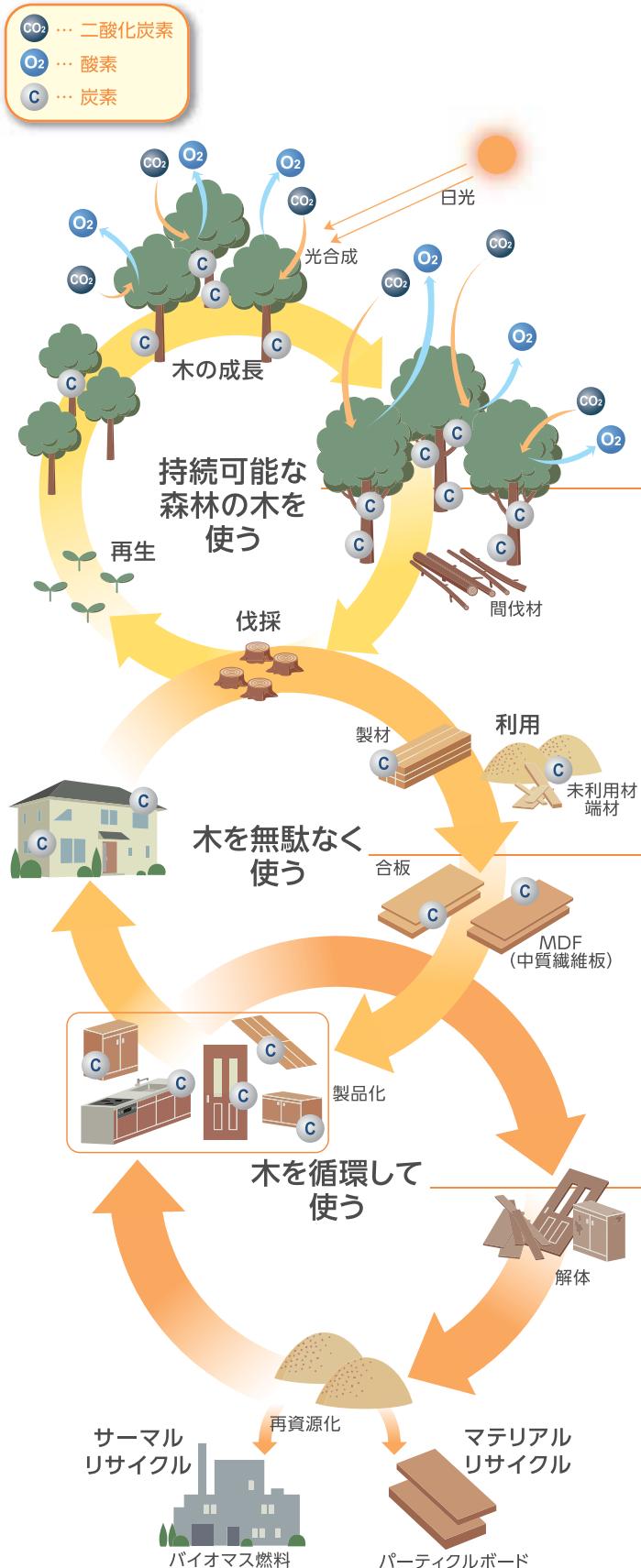
当社がいち早くこのような取り組みを行えたのは、素材から一貫して製品を生産できる体制を確立しているからです。素材を吟味し、それを活かす技術力という強みを、さらに事業活動に反映させ、これからの住まいづくりをけん引していくたいと考えています。

環境配慮木材で作られた製品



環境配慮木材を使用し、低炭素社会の構築に貢献

3つの循環の輪



年間11万トンの炭素を固定

低炭素社会の構築には、CO₂(二酸化炭素)の抑制が重要です。循環可能な生物資源である木は、大気中のCO₂(二酸化炭素)を取り込んで、C(炭素)を固定しながら成長していきます。しかし、自然に木が枯れると、固定されていたC(炭素)がO₂(酸素)と結びつき、再びCO₂(二酸化炭素)となって排出されてしまいます。

このような木のもつ働きに着目して、住宅に多く木製品を使用すれば、それだけ長期間にわたり固定できるC(炭素)の量も増えることになります。

永大産業は環境配慮木材を用いた木製品の供給を通じて、11万トン(2010年度)の炭素を固定しました。これは40万トンの二酸化炭素の排出を抑制したことに相当します。

持続可能な森林の木を使う

貴重な森林資源を継続的に利用するため、永大産業は製品の原材料に、森林認証材や間伐材、適切に管理された植林木などを積極的に採用しています。当社は持続可能な森林の木を使うことにより、森林環境の保護に貢献しています。

木を無駄なく使う

木材資源を無駄なく利用するため、永大産業は未利用材や木製品の生産工程で生じる端材を、木質ボードの原材料に活用しています。またこの木質ボードを用いて製品化を行っています。

木を循環させて使う

不用になった木質製品を再資源化するため、永大産業ではこのような製品から木質ボードを生産し、さらにその木質ボードを利用して製品を生産しています。また、バイオマス燃料に利用して、再生可能エネルギーを創出しています。

少子高齢社会への対応

誰もが安全に使える製品づくりを目指しています

ユニバーサルデザインへの対応

永大産業では、年齢や性別を問わず、誰もが使いやすいデザイン「ユニバーサルデザイン」を考慮した製品開発を行っています。当社では「ユニバーサルデザイン」の7原則に加え、経済性、耐久性、健康・環境への配慮などの考え方を取り入れています。

ユニバーサルデザインとは 7つの原則

- 1 誰にでも使用できるもの
- 2 使う上で柔軟に使えること
- 3 使い方が簡単で判りやすいこと
- 4 必要な情報が容易に伝わること
- 5 間違えても危険につながりにくく安全であること
- 6 少ない力で効率よく快適に使えること
- 7 使い手の体格や姿勢、使用状況にかかわらず操作がしやすいスペースや大きさにすること

ゆっくり閉まる ファインモーション機構



室内ドアやシステムキッチンの引き出しなどに「ファインモーション機構」を採用しています。「ファインモーション機構」は自動でブレーキがかかり、ゆっくり確実に閉まる安全な設計が特長で、扉が枠材にあたる時の衝撃音を和らげ、小さなお子様でも安心して扉の開閉が可能です。



高いところでも楽に収納



手前に引き出す「プルダウン収納」や、スイッチ1つで上下する「電動昇降ウォール」で、どなたでも高い位置から食料品や食器を楽に出し入れできるようになっている点が大きな特長です。



室内ドア 住宅性能表示制度 (高齢者等への配慮)に等級5まで対応



当社の室内ドアは、住宅性能表示制度(高齢者等への配慮)の最上等級である「等級5」まで対応しています。「等級5」は、介助式車いす使用者が基本的な生活行為を容易にすることに、特に配慮した措置が講じられなければならず、当社では建具(室内ドア、引き戸)の出入り口幅員が、800ミリメートル以上となるような幅広の製品をラインアップしています。



握りやすく 安全性の高いですり



当社の手すり「マルボ」は、手が小さいお子様や力の弱いお年寄りでも滑りにくく握りやすい直径35mmの製品です。手すり同士をつなぐ金具(フレキシブルジョイント)により、途中で途切れることなく、連続した施工が可能です。





ユニバーサルデザイン2011年新製品「セーフケアダイレクト」

少子高齢社会に対応した製品

永大産業は誰もが安全に使えるユニバーサルデザインを考慮し、さらにこれからの中子高齢社会に対応する製品として衝撃吸収フローリング「セーフケアダイレクト」を開発しました。

キッズデザイン賞を受賞

永大産業の衝撃吸収フローリング「セーフケアダイレクト」が、「2011年 キッズデザイン賞」(ユニバーサルセーフティ部門／商品デザイン分野)を受賞いたしました。



2011年 キッズデザイン賞受賞

ユニバーサルセーフティ部門

キッズデザイン賞は、「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン」というキッズデザインの理念を実現し、普及するための顕彰制度です。乳幼児用品や玩具などの子ども向けの製品・サービスに限らず、大人向けのものでありながら、商品や施設、プログラム、調査研究活動などを対象として幅広く募集するもので、受賞作品には、「キッズデザインマーク」の使用が認められます。



高齢者に配慮した安全設計

大阪市立大学大学院 生活科学研究科准教授
三浦 研



高齢者が住宅内で転倒した際にケガをして動けなくなると、その間に運動機能や認知機能が低下し、本当に寝たきりの状態になることがあります。このため転んでも大事に至らないようにする対策が望まれており、その点で「セーフケアダイレクト」は、高齢者に配慮した製品として極めて有用です。

大きな魅力のある製品

社会福祉法人 同和園園長
橋本 武也



高齢者介護の現場での一番の問題は、転倒による骨折でした。このため転倒してもその衝撃を和らげ、ケガをしにくいフローリングには大きな魅力を感じています。また工期が非常に短く、施工当日にもとの場所で生活できるという施工法(両面テープ施工)には感心しました。塩ビシートの頃に比べ、フロア全体が明るく、雰囲気が変わったと実感しています。

子供の頭部防護性能を検証

産業技術総合研究所 工学博士
西田 佳史



子供の不慮の事故をなくすため、永大産業、金沢大学との間で実施した平成21年度「安全知識循環型社会構築事業創造協同プロジェクト」では、子供の頭を想定したモデルを用いてシミュレーションを行い、転倒に対する衝撃吸収性能について検証しました。その結果、「セーフケアダイレクト」の頭部防護性能が高いことが明らかになりました。



環境 ENVIRONMENT

環境方針

永大産業では、環境に配慮し、持続可能な社会の実現に寄与するため、環境方針を定めています。当社の環境方針は「基本方針」と「行動指針」から構成され、「行動指針」には、とくに注力すべき具体的活動の内容について明示しています。

= 基本方針 =

永大産業は、地球、社会、人との共生を通じて、
環境保全に取り組み、
なお一層の社会貢献を目指します。

行動指針

1 企業活動



温室効果ガス削減

エネルギー、水資源を有効に活用し、温室効果ガス排出量の削減に努めます。



3Rの推進

Reduce(発生抑制)、Reuse(再使用)、Recycle(再利用)の3Rを推進し、循環型社会の発展に寄与します。



化学物質の管理・抑制

管理基準を設定し、環境負荷の大きな物質の使用・排出を抑制します。



環境に配慮した 木材調達

森林認証材、中でも植林木を積極的に採用し、環境に配慮した資材の比率を高めます。

2 社会的責任

法令を遵守し、地域との連携を深め、広く社会から評価される企業を目指します。

3 情報の開示

企業活動に関する情報は隨時、開示します。

地球温暖化防止への取り組み



より一層の省エネ活動により、温室効果ガスの削減に努めます

● 温室効果ガスは前年度比2%減(全社)

永大産業は2006年度を基準年とし、2011年度までに13%の温室効果ガス削減に取り組んだ結果、2009年度に目標をクリアしました。引き続き温室効果ガス削減に取り組み、2010年度はさらに前年比で2%排出を抑制しました。

● 製造、営業などで排出量を削減(部門別)

2010年度はトラック輸送が増え、物流部門でのエネルギーを多く消費したため、温室効果ガスの排出量が増加しました。しかし、製造、営業、本社部門は機械設備の効率的運用(製造)や、車両の小型化、台数の削減(営業)、オフィスにおける節電の強化(本社)により、温室効果ガスの排出量は減少しました。

温室効果ガス排出量 推移一覧表

(単位:t-CO₂)

部門	基準年度 2006年度	2009年度	2010年度	前年度比
製 造	大阪	2,086	2,001	2,026
	敦賀	23,350	20,150	-25%(注2)
	山口	33,376	16,380	+3%
3製造拠点合計	58,812	38,531	33,907	-12%
物流	22,115	14,189	17,746	+25%
営業	2,041	1,657	1,458	-12%
本社	1,200	977	922	-6%
合計	84,168	55,354(注1)	54,033	-2%

温室効果ガス排出量の算出方法について

注1: 環境社会報告書2010では、2009年度の温室効果ガスを、各電力会社の「調整後排出係数」を用いて算出したため49,471トンと表記しましたが、今年のCSRレポート2011では、改正省エネ法に伴い、全て各電力会社の「実排出係数」に統一して算出した結果、55,354トンに修正しています。

注2: 敦賀事業所の2010年度使用エネルギーそのものは、前年比1%増でしたが、北陸電力の実排出係数が前年よりも32%小さかったため、結果的に当社の温室効果ガス排出量は前年比25%減と、大きく減少しました。

製造部門別の電力使用量と温室効果ガス排出量

製造部門で最も多く使用するエネルギーは電力です。永大産業では電力の温室効果ガスの排出量を管理する際、各電力会社の各年度における排出係数を使用し、厳密に管理しています。2010年度は2009年度と比べ、生産量の増加に伴い電力の使用量は増加しましたが、温室効果ガスの排出量は前年度比12%減少しました。

部門	種別	基準年度 2006年度	2009年度	2010年度	前年度比	基準年度比
大阪	電力使用量	5,499	5,315	6,460	+22%	+17%
	排出係数	0.358	0.355	0.294		
	排出量	1,969	1,887	1,899	+1%	-4%
敦賀	電力使用量	37,052	28,091	29,140	+4%	-21%
	排出係数	0.407	0.550	0.374		
	排出量	15,080	15,450	10,898	-29%	-28%
山口	電力使用量	30,676	18,151	20,206	+11%	-34%
	排出係数	0.668	0.674	0.628		
	排出量	20,491	12,234	12,689	+4%	-32%
電力使用量合計	73,227	51,557	55,806	8%	-24%	
排出量合計	37,540	29,571	25,486	-12%	-32%	

* 温室効果ガスを求めるにあたり、電力の換算係数は基準年度の06、09、10年度とも管内電力会社の実排出係数を使用

単位／(電力使用量:千kwh)(排出係数:t-CO₂/千kwh)(排出量:t-CO₂)

VOICE 従業員の声

エネルギー効率を上げて 温室効果ガス削減へ

当社の排出する温室効果ガスの約60%は、製造部門によるものです。製品を生産するうえで、設備のエネルギー効率を上げることは、メーカーにとっての大きな責務です。燃料を無駄なく利用し、エネルギーの熱損失を低く抑える改善をさらに推し進め、なお一層、温室効果ガスの削減を図っていきたいと考えています。

敦賀生産管理部 生産技術課

大坪 啓人



実排出係数

電力事業者の活動(発電)に伴って排出される温室効果ガス(CO₂)を、算定するために用いる係数をいう。電力事業者が火力、水力、原子力などの発電方法のうち、年度ごとにどのような比率で発電しているかによって、係数の値も変わる。

用語解説

調整後排出係数

電力事業者が、国や団体が行っている温室効果ガス(CO₂)の排出量取引などに基づき、排出量を購入することで、実排出係数から一定量の排出量を控除した係数をいう。

リサイクル活動の推進



木を活かし、リサイクル活動を展開しています

サーマルリサイクル 「バイオマス発電／バイオマスボイラー」

● 再生可能エネルギーを創出し、 生産に使用するエネルギーの一部をまかなっています。

我が国では、これからエネルギーのあり方が見直されており、環境への負荷が低く、再生可能なエネルギーに注目が集まっています。永大産業では木を活かすリサイクル活動のなかで、バイオマス燃料による再生可能なエネルギーの創出と、その有効利用に力を入れています。

山口・平生事業所では2010年度、所内で使用する電力の22%を、バイオマス発電でまかないました。また、敦賀事業所では、パーティクルボードの生産に必要な蒸気エネルギーを得るため、ボイラーにバイオマス燃料を使用しています。



バイオマス発電所(山口・平生事業所)



再生可能エネルギーで 環境配慮

当社は再生可能な資源である木を活かし、マテリアルリサイクルとサーマルリサイクルに取り組んでいます。環境に優しいエネルギーを利用して、環境配慮型製品を生産する事業を通じ、今後も社会に貢献していきたいと思っています。

山口生産管理部 生産技術課
白井 福太郎



バイオマスボイラー(敦賀事業所)

マテリアルリサイクル 「パーティクルボード」

● 不用になった木質製品でパーティクルボードを生産し、 循環型社会の形成に寄与しています

木は焼却しない限り、炭素を固定し続ける効果があります。永大産業では、そのような木のもつ機能を重視するとともに、不用になった木質製品も大切な資源であるとの考えから、まずマテリアルリサイクル(再生利用)を行うべきとの立場を貫いています。その意味でパーティクルボードは低炭素社会の構築に不可欠な素材であるといえます。また当社の二次加工品である化粧パーティクルボードには、耐傷性、耐汚染性に優れた強化紙を使用しています。化粧パーティクルボードのなかには、マテリアルリサイクルができないものもありますが、当社の製品はそのまま原材料に還元することが可能です。このように当社では原材料の段階から廃棄・回収までを視野に入れた研究開発を行っています。



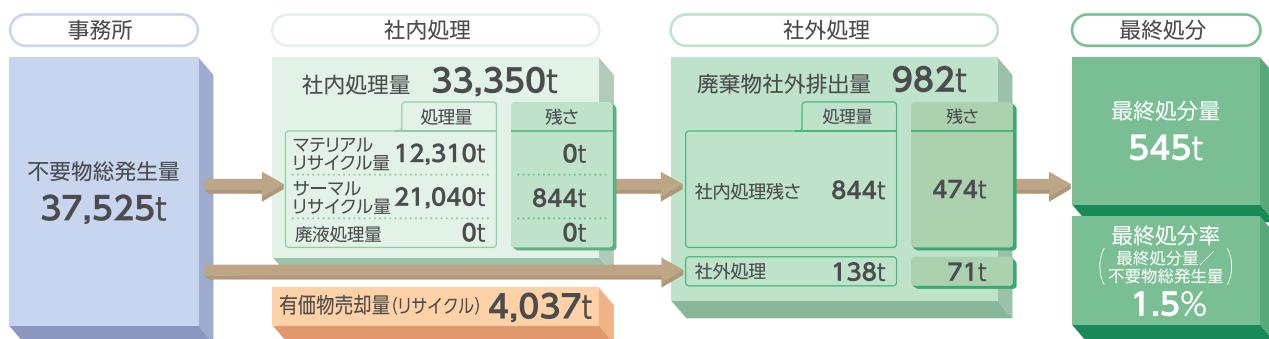


産業廃棄物削減への取り組み

大切な資源を有効利用し、再資源化を図っています

ゼロエミッション

永大産業では、大切な資源を有効利用し、再資源化を図ることによって、環境負荷の低減に取り組んでいます。



「ゼロエミッション(Zero Emission)」とは、使用する資源を最小限にとどめ、なつかつ事業活動を通じて排出される廃棄物などを、再資源化して活用し、全体として廃棄物を出さない生産のあり方を目指すものです。一般的に製造業では、最終処分率を2%以下にすることが目安となっており、永大産業の2011年度最終処分率は1.5%でした。

分別活動を徹底

大阪事業所では廃棄物の分別活動に力を入れています。部内にあるリサイクルセンターでは廃棄物を、木材・木質ボードの端材、ビニール、プラスチック、紙、金属など全部で25品目に分別し、再資源化もしくは有価物としての利用を行っています。このような活動を継続し、廃棄物の排出の抑制に努めています。

大阪事業所
リサイクルセンター(分別施設)



リサイクル資源の分別・有効活用を徹底しています。
回収された廃棄物は25品目に分別されます。
(廃プラ4・紙類10・ペットボトル・電線・アルミ・ステンレスなど)

特別産業廃棄物(PCB)を適切に処理

かつてトランスやコンデンサの絶縁油として使われていたPCB(ポリ塩化ビフェニール)は、特別産業廃棄物として適切に処理する義務があります。永大産業で、2010年度に環境対策費として、1億2800万円を計上しPCBの処理に着手しました。当社は年度ごとの処理計画に基づき、国の処理機関と調整を図りながらPCBの適切な処理を今後も進めています。



用語解説

産業廃棄物

建設業、製造業、サービス業など全ての事業活動に伴って生じた廃棄物を指し、汚泥や廃油など20種類と、輸入された廃棄物がある。

化学物質の管理・抑制



● VOC(揮発性有機化合物)への対応

住宅内にある様々な物から揮発性物質が空気中に放散されています。このような揮発性のある物質を総称してVOC (Volatile Organic Compound:揮発性有機化合物)といいます。気密性の高い近年の住宅では、ホルムアルデヒドなどのVOC等により空気汚染が引き起こされ、大きな社会問題となっています。永大産業では製品の安全性向上を目的に、VOCの少ない塗料や接着剤を使用しています。



● 低ホルムアルデヒドへの取り組み



シックハウス症候群や化学物質過敏症を引き起こさないよう、建築基準法では、ホルムアルデヒドの少ない建材の使用と、換気による室内的化学物質濃度低減を義務付けています。永大産業の製品は、ホルムアルデヒド発散等級の最上位規格(F☆☆☆☆)を取得しており、安心してお使いいただけます。



VOICE 従業員の声

化学物質低減に注力

化学物質に対する規制は強化される一方です。消費者の「目に見えないもの」に対する安全性確保への要求も、ますます高まる傾向にあります。当社は消費者の健康に配慮した製品を供給していくため、VOC放散の調査を実施し、それを低減させる研究と製品の開発に力を入れています。



山口建材工場開発室
森田 晋司

● 4VOC基準適合の自主表示を実施

4 VOC 基準適合 (木質建材)

トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの4VOCについては、2008年4月に「建材からのVOC放散速度基準」が定められました。これに基づき、業界各団体は「4VOC基準適合」の自主表示を実施しています。永大産業では「4VOC基準適合」の製品情報をカタログ等ご案内しています。

● 低VOCへの取り組み

低 VOC

4VOCとホルムアルデヒド以外の化学物質で、厚生労働省の指針の対象となっているものについては、製品安全データシート(MSDS)を用いて不使用であることを確認しています。さらにMSDSで確認できない場合は、小型チャンバー法に準拠して測定しています。



● MSDS制度への対応

MSDS (Material Safety Data Sheet=製品安全データシート)制度とは、指定化学物質及びそれらを含有する製品を他の事業者に譲渡、提供する際、その性状及び取り扱いに関する情報の提供を義務付ける制度です。対象となる562の化学物質のうち、当社では接着剤や塗料メーカーからのMSDSを一元的に管理しています。またその提出先をデータベース化して、常に把握できる体制を構築しています。



環境マネジメントシステム

ISO14001を全事業所で取得しています

ISO14001認証取得状況

永大産業では、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を、3ヵ所の事業所全てで取得しています。各事業所では、ISO14001に基づいてPDCAサイクル(計画→実施・実

行→点検・評価→処置・改善)を実践し、継続的な改善に取り組んでいます。



大阪事業所



- 認証取得日：2003年10月31日
- 適用規格：JISQ 14001:2004 / ISO 14001:2004
- 登録番号：JMAQA-E444
- 製品
 - 室内ドア •クロゼット •システム製作材 •シューズボックス
 - システムキッチン
- 住所：大阪府堺市



敦賀事業所



- 認証取得日：2000年2月29日
- 適用規格：JISQ 14001:2004 / ISO 14001:2004
- 登録番号：JMAQA-E094
- 製品
 - フローリング •一体型床暖房 •室内階段セット
 - パーティクルボード
- 住所：福井県敦賀市



山口・平生事業所



- 認証取得日：2001年12月20日
- 適用規格：JISQ 14001:2004 / ISO 14001:2004
- 登録番号：JMAQA-E259
- 製品
 - フローリング •パーティクルボード
- 住所：山口県熊毛郡平生町

環境監査体制

永大産業では、環境マネジメントシステム(EMS)が継続的改善されているかどうかを確認するため、ISO14001の規定に基づき、内部監査を行っています。内部監査は社内資格である「内部監査員」の試験に合格した者と、ISO担当者によって

実施しています。また、内部監査員については育成計画のもと、レベル向上のための研修も行っています。さらに外部の審査機関の評価も参考にしながら、さらなる環境負荷活動を開拓しています。

用語解説

EMS Environmental Management System(環境マネジメントシステム)の略。国際規格はISO14001。

マテリアルバランス 環境会計

マテリアルバランス

永大産業は、購入電力や燃料などの各種エネルギーを消費して(INPUT)、製品を生産し、また温室効果ガス、廃棄物を排出します(OUTPUT)。当社は資源やエネルギーを有効に使用するとともに、これら温室効果ガス、廃棄物の抑制に努めています。

INPUT

製造

エネルギー

購入電力	55.8 千MWh	前年度比 8.2%増
B・C重油	2,421 kl	前年度比 6.8%減
LPG、軽油等	17,3 千GJ	前年度比 1.9%減

水 200 千m³

上水	175 千m ³	前年度比 5.3%増
工業用水	21 千m ³	前年度比 6.7%増
地下水	4 千m ³	前年度比 39.0%減



研究開発

環境会計	環境保全コスト	(単位:百万円)
研究開発活動	124	経済効果 0

生産



大阪事業所 敦賀事業所 山口・平生事業所

環境会計

全社的な環境保全活動を行うとともに、より効果的な環境経営を目指す目的から、環境会計で環境保全コスト、および経済効果を算出しています。

分類	主な取組の内容	環境保全コスト
事業エリア内活動	公害防止	100
	水質汚濁防止	15
	その他	12
	地球温暖化防止及び省エネルギー	66
資源循環	歩留改善による資源利用効率の向上	
	水資源の効率的利用	
	廃棄物のリサイクル 廃棄物の適正処分	145
小計		339
上・下流域活動	グリーン調達(CoC認証材の調達など)	
	サプライヤーの環境管理活動支援	
	環境に配慮した製品の提供 省資源型製品梱包材及びリサイクル梱包材の利用	28
小計		28
管理活動	環境マネジメントシステムの整備・運用 事業所の緑化、周辺地域の美化活動	23
小計		23
研究開発活動	環境負荷の低い素材を使用した製品の開発 CoC認証材や国産木材を活用した製品の開発	
	製品リサイクル性向上の研究・開発	
	製造段階におけるVOC低減化の研究	
	製造段階における省エネルギー化の研究	124
小計		124
環境損傷対応	水質関連補償金	3
小計		3
合計		517

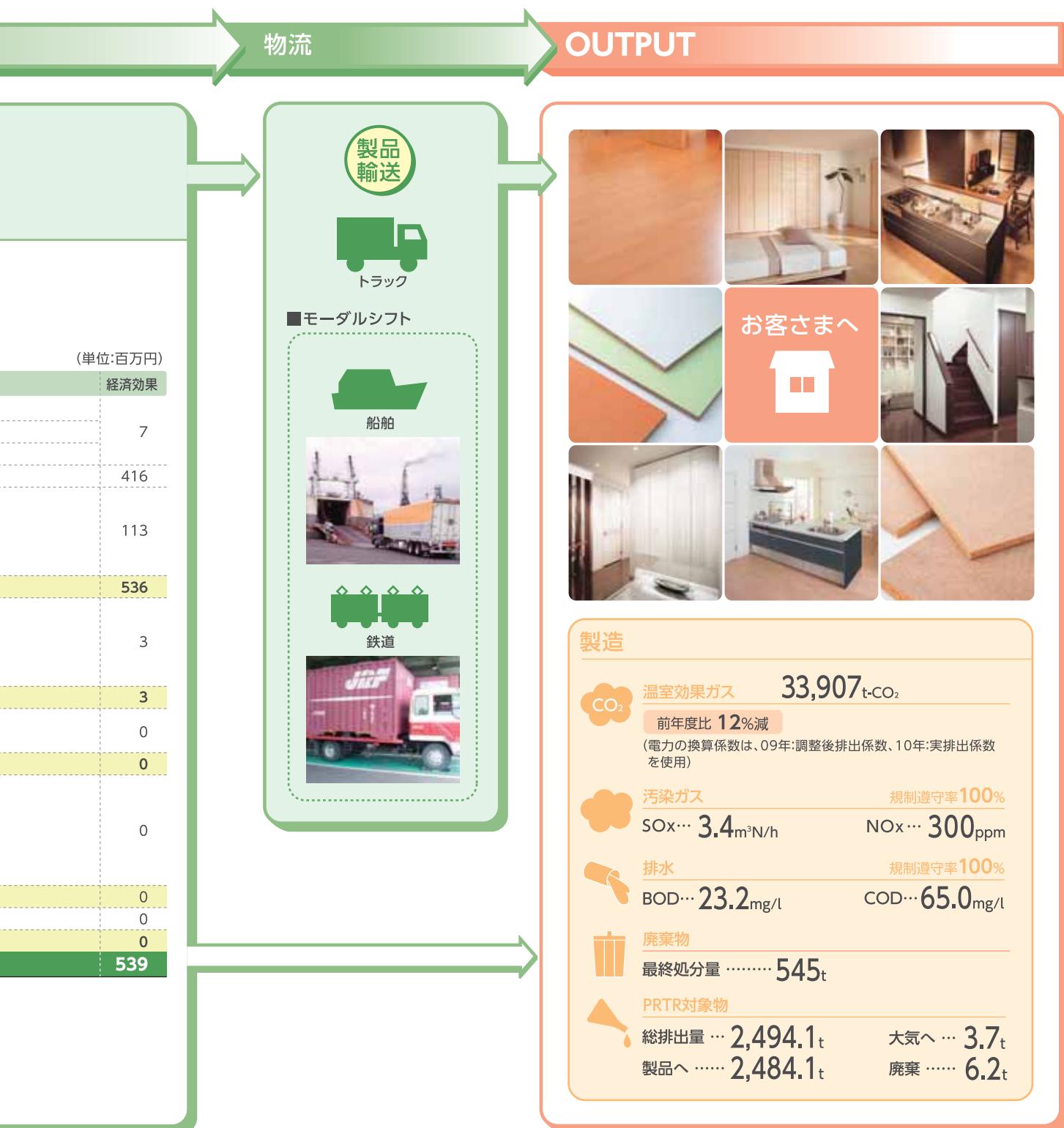
- 集計範囲:大阪事業所、敦賀事業所、山口・平生事業所
- 2010年度の環境保全コストは全て費用額で計上しています。
- 環境保全コストは5億1700万円、経済効果は5億3900万円でした。
- 参考にしたガイドライン:環境会計ガイドライン2007(環境省)
- 対象期間:2010年4月1日～2011年3月31日
- 集計方法:社内自主算定方法に基づいて集計

用語解説

マテリアルバランス

企業が事業活動を行うために投入する資源・エネルギー量、および排出する環境負荷物質の量(廃棄物を含む)をあらわす。

MATERIAL BALANCE



環境会計 事業活動における環境保全コストとその経済効果を、可能な限り定量的に測定し、伝達する仕組み。

PRTR 化学物質が大気中に拡散、あるいは事業所の外に運び出される場合のデータを把握し、公表する仕組み。



社会 SOCIAL

お客様とともに

永大産業では、お客さまからの電話相談にお応えするための「お客様相談センター」や、実際に製品をお確かめいただけるショールームを設置しています。また、ホームページを通じて、お客様に耳よりな情報や最新のデータをご提供しています。

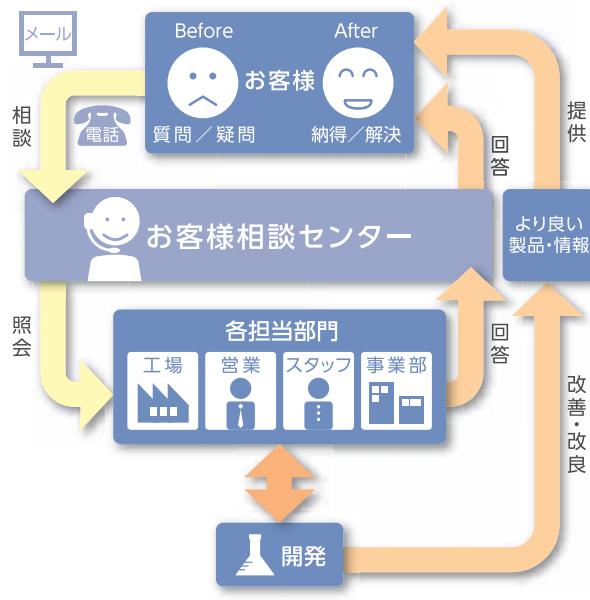
お客様相談センター

お客様からのご相談に、丁重に対応させていただきます

○ お客様満足の向上に努めます

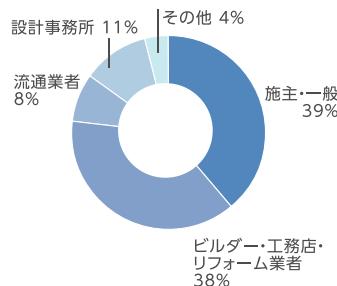
永大産業では「お客様相談センター」を社内に設置しています。当センターには製品知識やノウハウに長けたスタッフが常駐し、月間平均約1100件のご相談に対して、丁重に対応しています。2010年度のご相談件数の合計は1万3000件でした。

■ お客様の相談フロー図

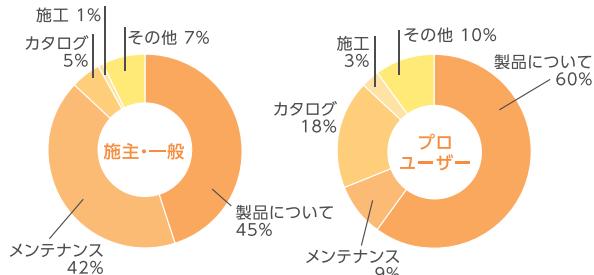


当センターでは、業務の継続的な改善や、お客様のニーズを取り入れた新製品の開発を目的に、ご相談の内容を分析して社内へ情報を発信しています。迅速、的確な回答ができるようマニュアルを充実させながら、当社ホームページの「お客様サポート」を通じ、お客様に情報をご提供しています。

■ お客様の構成



■ お問い合わせ内容



お客様相談
センター

0120-685-110

受付時間 平日9:00～19:00 土 9:00～18:00

休業日 年末年始・日祝

E-mail cs@eidai-sangyo.co.jp

営業体制

全国に広がるネットワークでお客様をサポート

永大産業は全国に41の営業拠点を設け、お客様の住まいづくりをトータルにサポートしています。



物流体制

確実に製品をお届けしています

永大産業では全国9ヵ所に物流拠点を設けています。お客様のご要望にあわせ、迅速・確実に製品をお届けしています。

ショールーム

全国にショールームを展開

永大産業では、北海道から沖縄まで全国に13のショールームを設置しています。このうち大都市圏にあるショールーム（札幌・仙台・東京・新宿・名古屋・大阪・梅田・広島・博多）では、豊富な製品知識をもつ専門スタッフが常駐して、お客様のご相談に対し、よりよいご提案を行っています。



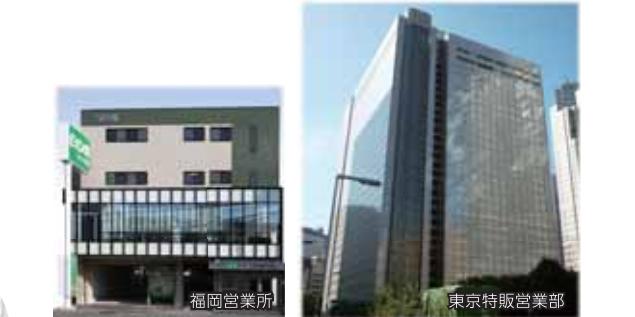
新宿ショールーム



名古屋ショールーム



梅田ショールーム



納期対応

翌々日にお届けするサービスを実施

永大産業では、短期間での納期を実現するため、室内ドアとクロゼットの一部品番について、ご注文いただいた日から翌々日にお届けするサービスを実施しています。



お客様によりよいご提案を

大都市圏のショールームでは、お客様によりよいご提案ができるよう、多彩なソフトウェアを取り入れ、パソコン上でシミュレーションを行うなど、様々なご提案を実施しています。



サンプル、カタログを充実

大都市圏以外の6ショールーム（新潟、静岡、金沢、京都、岡山、沖縄）では、主力製品やサンプル、カタログなど様々な資料を取り揃えております。



静岡ショールーム

体験型の展示を行っています

ショールームでは、ご来場のお客様に直接製品を見て、触って、その機能を確かめていただく目的から、体験型の展示となるよう工夫しています。



従業員の声

お客様の目線でアドバイス

ショールームでは豊富な展示品を取りそろえ、お客様の目線で、最も適したアドバイスを行うよう努めています。お客様の家族構成や生活スタイルに合わせたコーディネートやプランニングを通じ、お客様にご満足いただける説明を常に心がけています。

新宿ショールーム
内海有子



お客様とともに

ホームページ

永大産業のホームページは、トップページを見やすく、わかりやすくして、知りたい情報にすばやくアクセスできるよう工夫しています。お客様にご活用いただくため、常に情報を更新し、掲載内容の充実を図っています。

製品情報

永大産業の製品をご紹介するデジタルカタログや、ユニットを組み合わせて、思い通りにプランニングできるシミュレーションツールなどをご用意しています。



セーファダイレクト

車庫専用フローリング
セーファダイレクト

万一転倒しても、クローリングで命を危険にさらさず。
子供からお年寄りまで、安心してお使いいただけます。

新規登録へ

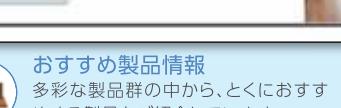


カタログ一覧

検索結果

- 1. [「車庫専用フローリング」セーファダイレクト](#)
- 2. [「車庫専用フローリング」セーフアセーフ](#)
- 3. [「車庫専用フローリング」セーフアセーフ](#)
- 4. [「車庫専用フローリング」セーフアセーフ](#)
- 5. [「車庫専用フローリング」セーフアセーフ](#)

新規登録へ



おすすめ製品情報

多彩な製品群の中から、とくにおすすめする製品をご紹介しています。



デジタルカタログ

最新の製品情報が
ご確認いただけます

建築業界の方へ

品質管理

顧客満足度の高い製品づくりを目指しています

永大産業ではお客様に安心・安全な製品をご提供するため、顧客満足度の高い製品づくりを目指しています。品質マネジメントシステムに基づいて品質の改善に努めるとともに、工場見学会を開催して、製造の現場をご紹介しています。

品質基本方針

永大産業ではお客様のニーズにあった製品の開発と、お客様がご使用になって満足いただける製品の提供を目指して、ISO(国際標準化機構)に準じた品質基本方針と品質基本目標を定めています。

●品質基本方針

永大産業株式会社の理念及び企業戦略を踏まえて、顧客の期待やニーズなど顧客の関心事を捉え、製品化を行い、顧客が満足する製品を継続的に提供することを目指します。

品質管理体制

永大産業では、製品品質の信頼性を確保するため、設計、製造、出荷における品質の安定と向上に努めています。品質の向上にあたっては、「品質管理規程」を始めとした諸規程によって品質管理の方法を厳格に定めるとともに、品質管理を適正かつ効果的に行うことができるよう、事業所に品質管理委員会を設置して、総合的な視点で品質に関する改善を行っております。

さらに、様々な部会を設けてお客様のご意見や製品に対するお問い合わせについての検討を行い、品質の向上に取り組んでいます。

ISO9001認証取得状況

永大産業では、品質マネジメントシステム(Quality Management System)の国際規格であるISO9001を、3ヵ所の生産拠点全てで取得しています。各事業所では、ISO9001に基づきPDCAサイクル(計画→実施・実行→点検・評価→処置・改善)を回し、継続的な改善に取り組んでいます。

生産拠点	取得年月	番号
大阪事業所	2001年8月	JMAQA-1103
敦賀事業所	2001年7月	JMAQA-1090
山口・平生事業所	2005年4月	JMAQA-1908



さらなる品質の向上へ

私たちメーカーには、より良い製品をお客様にお届けする責任と義務があります。生産工程を正しく管理し、品質検査を強化することで、お客様への責任を全うしたいと考えています。今後もさらなる品質の向上を目指し、様々な改善・改良を行っていく考えです。

山口建材工場 検査課品質管理係
景山 研一郎



工場見学会を実施

永大産業では、当社の製品づくりの姿勢をお客様にご理解いただくため、全国の製造拠点で随時、工場見学会を開催しています。見学会では生産現場を直接、御覧いただきながら、当社の品質管理の考え方や、当社が取り組んでいる具体的な手法についてご説明しています。



従業員とともに

安全管理体制の強化

安全で、働きやすい職場づくりに力を入れています。

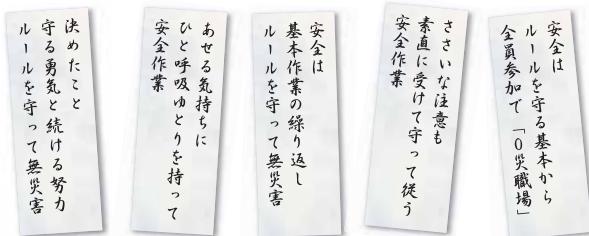
永大産業は従業員が安全に働く職場づくりに力を入れています。特に大きな機械設備を扱う事業所では、危険物の管理や火気の取り扱いには細心の注意を払うとともに、万が一の場合に備え定期的に防災訓練を実施しており、2010年度は、このような取り組みが評価され、地方自治体から表彰されました。



安全管理への取り組み

安全管理に対する意識を向上

各事業所では、毎年7月の「全国安全週間」にあわせ、安全衛生をテーマとしたポスターや標語を部内から募集しています。集まった作品については優秀作品を表彰し、部内に掲示することで、従業員の安全管理に対する意識向上に努めています。



より安全な職場づくりへ救急救命講習会を実施

安心して働く職場づくりのために、永大産業では、大型の設備を扱う機会の多い従業員を対象とした救命講習会を実施しています。講習会では講師の指導のもと、心肺蘇生訓練用の人形を用いた人工呼吸の方法や、心臓停止のときに電気的刺激を与えて組成を試みる装置(AED)の使い方のほか、三角巾による止血方法について学び、万が一の事態に備えています。



安全管理を徹底

大阪事業所に堺消防局から表彰状

防災に対する安全管理に対し、従業員が全力で取り組んできたことが高く評価された結果、大阪事業所は、2010年度の優秀防火管理事業所(全11事業所)に選ばれ、堺市消防局から表彰されました。



敦賀事業所に県、市から表彰状

従業員一丸となって、長年交通事故防止に取り組んだ結果、敦賀事業所は2010年度の敦賀交通安全大会で、敦賀市から「秋の交通安全市民大会 交通安全功労者(団体)」として、初めて表彰されました。さらに福井県からも「第28回福井県交通安全県民大会 知事表彰 交通安全功労団体」の表彰を受けました。



健康的な職場づくり

永大産業は、健康的で快適な職場づくりを目指し、従業員の健康管理をはじめ、社内の美化・緑化運動やスポーツを通じたコミュニケーションの円滑化に力を入れています。

● より快適な職場づくりへ 緑化推進運動を展開

より快適な職場づくりを目指そうと、敦賀事業所では敷地内に花を植える運動を展開中です。管理部事務所の入口前に、新たに花壇を設けたほか、工場裏にある空き地を利用して花壇を作る計画も進められています。環境を考え、その花壇に使う水は自然の地下水を使っており、そのための水路も作りました。また山口・平生事業所では壁面緑化に取り組んでいます。大阪事業所でも社員がそれぞれの持ち場を決めて、植木の剪定を行い、社内美化に取り組んでいます。



● 従業員の健康管理をサポート

永大産業では、従業員の健康管理と万が一の場合に備え、製造部門に医務室を設けています。医務室では看護師が常駐し、従業員一人ひとりに健康管理のアドバイスを行っています。各種健康診断をはじめ、メンタルヘルスや体力増進のための支援活動も行っています。

VOICE
従業員の声

従業員の健康を管理

様々な機械が稼働している工場内では、多くの危険と隣り合わせであるといっても過言ではありません。わずかな体調の不良が、大きな事故や怪我を招くこともあるため、従業員の心身の健康管理には、細心の注意を払わねばならないと考えています。

山口生産管理部 総務課 医務室
岡村 寛子

● スポーツを通じ コミュニケーションを円滑化

永大産業では、業務におけるコミュニケーションの円滑化を図るため、レクリエーション活動を支援しています。毎年、製造部門を中心に、ソフトボール大会を開催しています。この催しには、従業員の家族だけでなく取引先など多くの参加者でぎわいます。



地域社会とともに

地域に貢献しつづける企業でありたいと考えています

永大産業の事業所では、地域に根ざし、ともに発展していくことを目的に、美化運動のほかスポーツを通じた交流など様々な活動を展開しています。

○ 地域をきれいにする運動を推進

敦賀市内には、ゴミの集積ポイントが約800ヵ所あります。このうち市の中心部にある約200ヵ所が、カラスなどによって汚されないよう、敦賀商工会議所がゴミの集積ポイントをフェンスで覆う運動を進めています。敦賀事業所では同会議所とこの運動を推進し、このフェンスの製作作業に協力しています。



○ 地域の美化運動を推進

各事業所ではそれぞれ、地域の美化活動に参画し、定期的に清掃を実施しています。道路わきに放置されたゴミ・空き缶拾いのほか、除草などを行って、美しい景観の維持に努めています。



○ 子どもたちの交通安全のために

山口・平生事業所では、地域の児童を車の事故から守るために、毎年2回実施される交通安全週間に、児童の安全を確保する運動に参加しています。2010年度は4月と9月に計2週間活動しました。



○ 中・高校生の就業体験に協力

敦賀事業所では毎年、高校生を対象としたインターンシップ(就業体験)や中学生を対象とした体験学習に協力しています。このような機会を通じ、早い時期から働くことの意義や楽しさ、やりがいなどを学んでもらうことが大きな目的です。2010年度は10名(高校生6名、中学生4名)を受け入れました。



● スポーツを通じて地域社会と交流

山口・平生事業所では、スポーツ(サッカー)を通じて地域社会との交流を図っており、地元少年サッカークラブへ練習場(グラウンド)を提供しています。毎年12月、大きな地域の交流試合「サッカーフェスティバル」が、このグラウンドで開催されており、2010年の第22回大会では、計16チーム600人が参加しました。



VOICE
従業員の声

サッカーを通じて 地域と交流

2004年4月に発足した永大サッカー部は、現在20名の部員で活動しています。地元のチームの練習や、大きな大会の折りにはグラウンドを提供するとともに、地域の方々と練習試合を行って、交流を深めています。また地元の小学生のチームとも練習試合を行い、ゲーム運びの指導を行っています。

山口建材工場 管理課
末吉 朋弘



地域社会とともに

● 地域とのつながり 障がい者自立活動を支援

お客様に製品をご提供する際、あらかじめ製品の見本(ブックサンプル)が必要になる場合があります。敦賀事業所では地域とのつながりを重視する狙いから、社会福祉事業団にブックサンプルの製作のほか、梱包資材カットの軽作業を20年以上依頼し、障がい者自立活動を支援しています。



● チャリティ Tシャツ販売に協力

山口県熊毛郡平生町では、毎年8月に地域の重要な行事のひとつである「ひらお十七夜まつり」が開催されています。山口・平生事業所では、毎回従業員が裏方としてこの行事に参加しています。2011年の「ひらお十七夜まつり」では、従業員が地域の方々と一緒にになって、『24時間テレビ34 愛は地球を救う』の東日本大震災義援金チャリティ Tシャツ販売に協力しました。





コーポレート・ガバナンス CORPORATE・GOVERNANCE

コンプライアンス

コンプライアンス（法令遵守）の強化に努めています

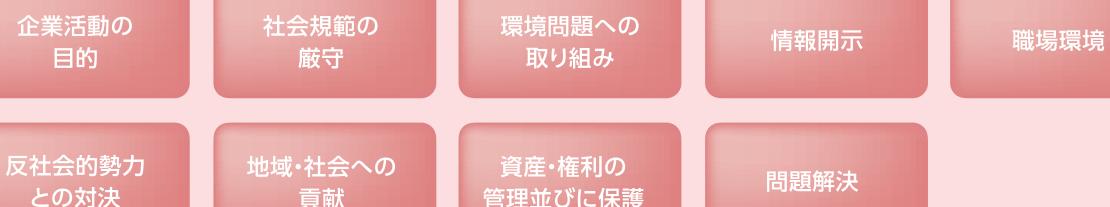
コンプライアンスとは「法令遵守」と訳され、法律を遵守することはもちろんのこと、社内の規程や企業倫理などの規範を守つて行動することとされています。永大産業のコンプライアンスは、このような法律や社内規程などの遵守にとどまらず、当社で働くすべての人々が、より高い倫理観・価値観を共有することを目指しています。

○ 永大産業企業行動憲章

永大産業では、コンプライアンスの一環として2004年9月から「永大産業企業行動憲章」を制定しています。

この憲章は、当社が事業活動を継続する中で最低限遵守すべ

き事項として、社内はもとより社外にも公表し、企業の社会的責任としてコンプライアンスに対する考え方や姿勢を宣言しています。



詳細は当社ホームページ「会社案内」の「企業行動憲章」の欄に記載しています

○ 全社一丸となってコンプライアンス活動を推進します

永大産業は、全社一丸となってコンプライアンス活動を推進するため、「コンプライアンス・マニュアル」を制定しています。このマニュアルには役員及び従業員の役割のほか、組織体制やコンプライアンス意識高揚のための啓蒙活動についても定めており、「高い企業価値の創造」の実現を目指しています。コンプライアンス委員会は、横断的にコンプライアンスの具体的計画などの重要事項について協議を行います。また法務コンプライアンス室は、統括室として教育、助言などの全社的な取り組みを進めています。タスクフォースは同室に対して、実務面から調査、報告、提案を行い、コンプライアンス活動を進めるための組織体制を整備しています。

また、日常の事業活動なかで、頻繁に起こり得る事例を集め、判断のよりどころとする事例集を全社員に配布するなど、身近なところでも、コンプライアンスへの理解を深める取り組みを行っています。



コーポレート・ガバナンス

監査・監督機能を強化し経営活動の透明性に努めます

永大産業は、企業価値を高め、社会やさまざまなステークホルダーから信頼されるために、

内部統制システムを含めたコーポレート・ガバナンス体制の充実が、経営の最重要課題であると考えています。

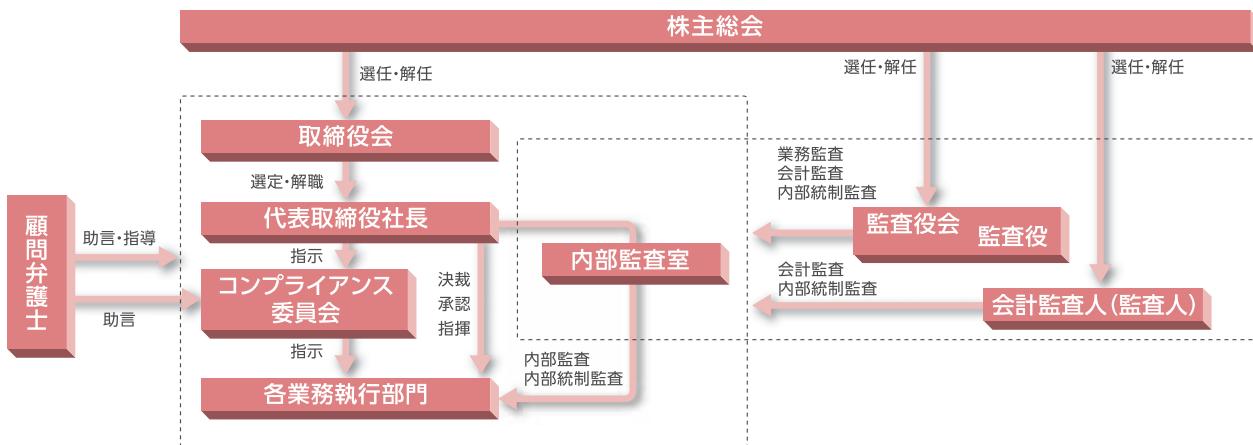
○ コーポレート・ガバナンス体制

永大産業は、2011年6月29日現在で取締役8名、監査役4名（うち社外監査役2名）の体制になっています。コーポレート・ガバナンス体制充実のために、経営監視機能の強化、経営効率の向上等に取り組むことで、企業価値の向上を目指しています。取締役の任期は1年としており、経営環境の変化に迅速に対応できる経営体制の構築を図るとともに、年度における取締役の経営責任をより一層明確化させ、株主総会での信任の機

会を増やし、株主による経営監視体制を強化しています。

また、取締役会には2名の社外監査役が出席し、専門的な視点や客観的な立場から必要に応じて意見を述べるなど、社外からの監視・監督が十分に機能する体制となっています。さらに、監査役は取締役会の他にも重要な会議に出席し、取締役の職務執行について厳正な監視を行っています。

■ コーポレート・ガバナンス及び内部統制の体制図



○ 内部統制システムの基本方針

永大産業は、内部統制システムの整備に関する基本的な考え方を「内部統制システム構築の基本方針」として、経営管理体制やリスク管理体制など10項目を定めています。

内部統制システム構築の基本方針

- 取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
- 使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
- 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
- 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- 取締役の職務の執行が効率的に行われるることを確保するための体制
- 当社及び子会社からなる企業集団における業務の適正を確保するための体制
- 監査役の職務を補助すべき使用人に関する体制と当該使用人の取締役からの独立性に関する事項
- 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制
その他の監査への報告に関する体制
- 監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制
- 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及び体制の整備状況

VOICE
従業員の声

より高い法令遵守の意識を

当社が多くのステークホルダーの方々から、さらなる信頼を得るために、全ての社員が法令遵守の意識をより一層高めることが重要です。法務コンプライアンス室では月毎に、強化すべき活動を定め、社員の啓蒙活動に力を入れています。

総務部 法務コンプライアンス室

松本 拓磨



リスクマネジメント

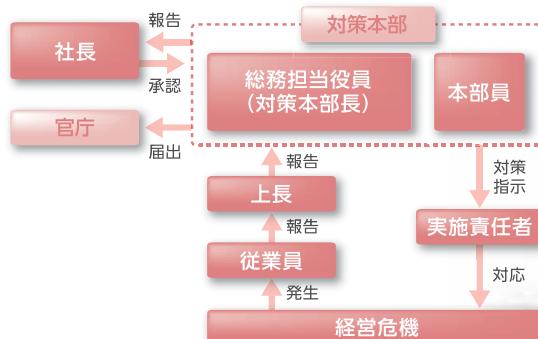
さまざまなリスクに対する危機管理体制の強化を図っています

● 経営危機管理

永大産業では、リスク管理意識の向上に取り組んでおり、経営危機発生の回避、リスクの未然の防止、経営危機発生時の損失の最小化を期すため、「経営危機管理規程」を定めて対応しています。

この規程ではすべての従業員は常に経営危機につながる事象の発生防止に努め、これらの発生に対し万全の注意を払わねばならないとしています。万一、経営危機が発生した際には、直ちに対策本部を設置して危機の解決もしくは回避のために全力を尽くすよう定めています。

■ 経営危機管理体制



● 事業所におけるリスクマネジメント

永大産業では、環境マネジメントシステムに則り、緊急事態が発生または発生する恐れのある場合や、官公庁・地域住民等から緊急事態要請を受けた場合を想定し、事業所別に緊急事態管理規程を定めています。

各事業所では、この緊急事態管理規程に基づき、近隣に影響を及ぼすと予測される事態や、周囲に公害発生をもたらす施設に対して、あらかじめそのリスクを抽出し、特定しています。これらのリスクを認識したうえで、事態発生の回避につとめるとともに、発生した場合の迅速な対応ができる体制をとっています。



● 個人情報保護

永大産業では、個人情報保護に関する法令を遵守し、個人情報を保護することが事業活動の基本であり、社会的責務であると考えています。

安全管理に関する「個人情報保護基本規程」を制定し、基本方針に基づき、取得する個人情報（ウェブサイトから提供された個人情報を含みます）について、個人情報を取扱う部門ごとに管理責任者を置き、適切な管理、監督に努めています。

また、個人情報の提供先との間において、秘密保持契約の締結等の方法により、お客様の個人情報を保護するための適切な管理を実施しています。

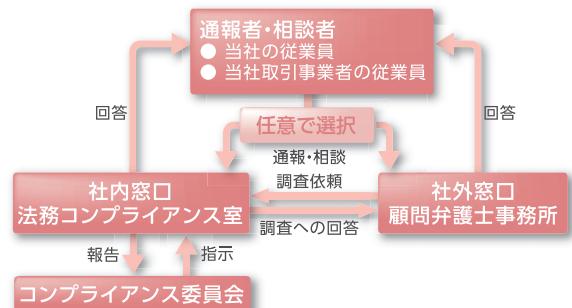
さらに、お客様の個人情報への外部からの不正なアクセスや漏洩等を防止するために、セキュリティの維持・強化にも努めています。

● ホームページの「プライバシーポリシー」に詳細を掲載しております。

● 内部通報者保護制度

永大産業では、2006年4月施行の「公益通報者保護法」を遵守するために「内部通報者保護規程」を定めています。通報者・相談者は、会社の中で法令等に違反する行為が生じている、または生じようとしている場合に、社内窓口・社外窓口のどちらにでも通報・相談することができます。

なお、通報者・相談者が通報により不利益な扱いを受けない仕組みを構築しています。



公正な事業慣行

社会に対して倫理的な行動を取るための体制を構築しています

● 知的財産権で競争力を強化

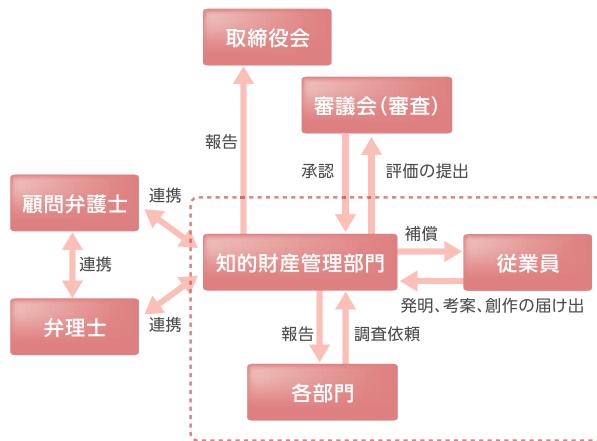
永大産業では、財産権の保護ならびに活用を重視しています。特に知的財産権については迅速に調査を行い、より多くの権利保有に力を入れています。また、新製品の発売にあたっては、他社の権利を侵害しないよう、事前に綿密な調査を実施しています。当社では他社に先駆けた権利の取得によって、競争力の強化に努めています。



● 発明などに適正な対価を補償

永大産業では、当社の保有する知的財産を管理、保護するため「知的財産管理規程」を設けています。

また発明、考案、創作に関する取扱を明確にし、適正な補償を行うことによって意欲の向上を図るため、「発明考案創作規程」を制定しています。「発明考案創作規程」については、さらに具体的な判断基準を明示した「実施・処分補償金審査基準」を設け、この規程や基準のなかで、発明、考案、創作の定義や補償に関する内容を明らかにしています。

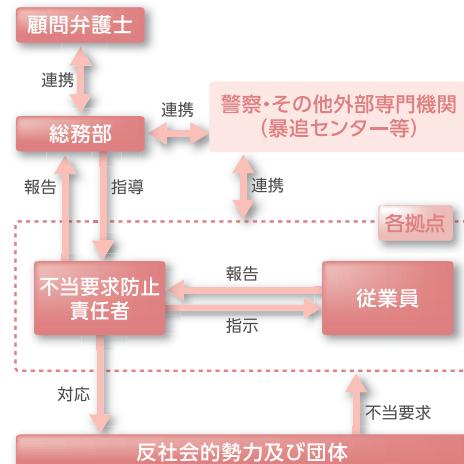


●反社会的勢力及び団体に対して毅然とした態度で対応します

永大産業では、反社会的勢力及び団体に対しては毅然とした態度を貫き、断固として対決することが企業の社会的責任を全うするうえで不可欠と考えています。そのため、従業員が反社会的勢力及び団体と関与しないように、服務規律として就業規則に明記するだけでなく、これらの団体と向き合うための基本方針や具体的な対応策についての詳細を「反社会的勢力排除マニュアル」に定めています。また、取引先の属性をチェックし、取引基本契約書に暴力団排除条項を導入するなど、管理体制の徹底を図っています。経営トップから従業員に至るまで、反社会的勢力からの不当・不法な要求に屈することなく、一切の関係を遮断するため、全社一丸となって組織的な取り組みを実践しています。

「反社会的勢力排除マニュアル」基本原則概要

- 反社会的勢力からの不当要求に直接対処する従業員の安全を確保し、組織として対応する
 - 反社会的勢力に備え、警察、その他外部専門機関との緊密な連携関係を構築する
 - 取引関係を含めて一切の関係をもたない
 - 有事において民事と刑事の両面から法的対応を行う
 - 反社会的勢力からの不当要求が、事業活動上の不祥事などを理由とする場合でも、
　　事実を隠蔽するための裏取引は絶対に行わない
 - 反社会的勢力への資金提供は、絶対に行わない



サイトレポート

永大産業グループ会社の概要についてご紹介します

小名浜合板株式会社 東日本における生産・物流拠点



TOPICS! 環境



林地残材のリサイクル活動を推進

小名浜合板では、不用になった木質製品を原材料にしてパーティクルボードを生産する一方、林地残材のリサイクル活動を推進するため、国産材のチップのみを使用したパーティクルボードの生産にも取り組んでいます。

会社概要

本 社 〒971-8183

福島県いわき市泉町下川字田宿1-1

TEL : 0246-56-6391(代)

FAX : 0246-56-0329

資 本 金 3億3,750万円(2011年3月末日現在)

従 業 員 数 142人(2011年3月末日現在)

事 業 内 容 1.パーティクルボードの製造販売

2.収納部材および造作部材の製造販売

3.階段部材の製造販売

INPUT

エネルギー投入量

種 別	使 用 量
購入電力	12.4千MWh
揮発油	12kl
軽油	39kl
灯油	13kl
水	79.8千m ³

TOPICS! 社会性



いわき市内の美化運動に参加

毎年2回、いわき市が主催する「いわきの町をきれいにする市民総ぐるみ運動」に全社で参加しています。除草やゴミ拾いを行って、工場周辺の美化に努めています。

OUTPUT

温室効果ガス排出量

7,617CO₂-t

廃棄物の排出量

最終処分量 117t

主な製品



パーティクルボード

エヌ・アンド・イー株式会社

国産材を活用したMDFを生産



会社概要

本 社 〒773-0020

徳島県小松島市和田津開町字北395-6

TEL : 0885-37-1153(代)

FAX : 0885-37-3180

資 本 金 37億5,000万円(2011年3月末日現在)

従 業 員 数 76人(2011年3月末日現在)

事 業 内 容 MDFの製造販売

INPUT

エネルギー投入量

種 別	使 用 量
購入電力	16.2千MWh
揮発油	76kl
軽油	25kl
LNG	7,820t
水	160.8千m ³

TOPICS! 環境



SGEC-CoC認証を取得

2010年10月、SGEC(Sustainable Green Ecosystem Council 緑の循環認証会議)のCoC認証を取得し、より一層森林資源の適正な管理及び林業の活性化に貢献しています。

TOPICS! 社会性



「とくしま協働の森づくり事業」で林業活性化に貢献
「とくしま協働の森づくり事業」で林業活性化に貢献
竹材を利用した二次製品の開発を地元の工業高等専門学校と共同研究しています。また、徳島県が
推進している「とくしま協働の森づくり事業」を通じ、県産材並びに林地残材を積極的に利用することで、県内の林業活性化に努めています。

OUTPUT

温室効果ガス排出量

27,944CO₂-t

廃棄物の排出量

最終処分量 449t

主な製品



NEOボード



EIDAI CSR REPORT

編集後記

「CSR REPORT2011」を御覧いただき、誠にありがとうございました。編集過程では、機会あるごとに編集チームが取材現場に赴き、現場の担当者とコミュニケーションをとりながら取材活動を行いました。その意味で編集チームとしても愛着のあるものとなり

ました。これからさらにステークホルダーの皆様に見やすく、わかりやすい報告書を目指してまいります。皆様からのご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。



<http://www.eidai.com>

永大産業株式会社

〒559-8658 大阪市住之江区平林南2-10-60 TEL 06-6684-3000(代)

お問い合わせ先：経営企画部 CSR推進室 TEL 06-6684-3062 FAX 06-6684-3068



この印刷物は環境に配慮して、
石油系溶剤の一部を植物油に
替えた「植物油インキ」を使い、
ISO14001認証工場において、
廃液の出ない「水なしオフ
セット印刷」で印刷しています。



この印刷物はより多くの方が見わけやすい色づいや形、線
種を用いるなど、カラーユニバーサルデザインの考え方を意識
して制作いたしました。

Color Universal Design



A602ZeZe1109dnDN第1版

2011.09